

会議録（案）

会議の名称	西東京市立ひばりが丘中学校及び西東京市立田無第二中学校 通学区域見直し等に関する地域協議会（第4回会議）
開催日時	平成29年8月28日（月） 午前10時00分から午前11時55分まで
開催場所	ひばりが丘中学校 1階視聴覚室
出席者	<p><委員>真鍋 五十鈴、赤澤 賢一、河野 美晴、喜多見 郷子、勝見俊也、志水 郁子、中平 由美子、伊藤 裕子、井上 雅子、瀬沼 洋子、本名 修也、住田 佳子、野崎 信行、佐藤 裕子、大谷 千夏、平野 真由美（中原小副校長 代理出席）、広野 園枝、諸岡 浩、高柳徹、菅家 淳子、屋宮 茂穂（順不同・敬称略）</p> <p><事務局>南里由美子（教育部特命担当部長）、早川礼成（教育企画課長）、大谷健（教育企画課課長補佐兼学務係長）、根岸伸太郎（教育企画課学務係主査）、和田克弘（教育企画課企画調整係長）</p>
傍聴者	1人
議題	<p>1 開会</p> <p>2 会議録の確認</p> <p>3 通学区域の見直しについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
会議資料の名称	<p>資料1 地域協議会（第3回会議）会議録（案）</p> <p>資料2 これまでの経緯と本協議会における検討を踏まえた方向性（案）</p> <p>資料3 ひばりが丘中学校の建替に伴う通学区域の見直しに係る学級数推計</p> <p>資料4 小学校から中学校への進学に関する確認表</p> <p>資料5 （仮称）第10中学校移転関連スケジュール表</p> <p>資料6 今後の事務手続、必要な検討事項について</p> <p>資料7 ひばりが丘中学校の移転に伴う通学区域の見直しについて（案）</p> <p>資料8 西東京市立ひばりが丘中学校及び西東京市立田無第二中学校通学区域見直し等に関する地域協議会」スケジュール</p> <p>参考資料 通学区域地図</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><○発言者：発言内容></p> <p>開会</p> <p>議題2 会議録の確認</p> <p>○会長：第3回の会議録（案）について、訂正すべき箇所などがあれば発言願いたい。</p> <p>○委員：（異議なし）</p> <p>○会長：それでは正式な会議録とする。</p>	

議題3 通学区域の見直しについて

○事務局：資料2から4及び通学区域地図に基づき説明。

○会長：感想や質問があれば発言願いたい。

○委員：資料4の補足説明について

○会長：資料4と通学区域地図の比較について、資料4の【前回までの第1案、第2案（意見反映版も同表）】が、通学区域地図の「①第1案、第2案意見反映版」に対応する。また、資料4の【前回までの第3案の意見反映版】が、通学区域地図の「②第3案意見反映版」に対応する。

通学区域地図の見方について、区域案は実線で示し、前回会議での区域案からの変更箇所は点線で記載して比較できるようにしている。

○委員：泉町三丁目、四丁目の児童が、保谷中学校への進学を希望することも見込まれる。学校選択の際、柔軟に対応してもらいたい。

○委員：通学区域案と適正な学級数との兼ね合いが心配。旧東大農場の今後の動向はどうか。他の地区、中学校区との接点を含めて見直すと良い。

○委員：両校とも生徒が多い時期をクリアすれば良い。

○副会長：①案、②案の学級数について、比較的生徒数の多い時期は一時的であり、問題は無いと思われる。

○会長：生徒数の多い場合は、基本的に特別教室の一時転用により対応する。

○事務局：現時点で旧東大農場の開発動向は確認できていない。郵政宿舎の跡地の動向は把握している。田無二中の生徒数は、将来的に大幅には減らないと見込んでいる。

○委員：他の中学校を含む学区域の調整はどうか。

○事務局：現状では通学区域による調整は難しく、学校選択等の活用を想定している。

○委員：学校選択の枠、抽選の範囲を広げたらどうか。

<各小・中学校の委員を1グループとした意見交換、発表>

○委員（ひばりが丘中）：谷戸町三丁目の児童が田無二中への進学を希望することを見越して、泉町三丁目の児童を保谷中へ進学するよう区分けしたらどうか。

○会長：今回は、ひばりが丘中と田無二中の通学区域の範囲内の見直しであるが、参考意見としたい。

○委員（田無二中）：大規模校・小規模校の特性を活かした学校運営をしてほしい。

○委員（住吉小）：防災・防犯の観点からシンプルな通学区域がベスト。「②3案意見反映版」が良い。本校の場合、小中連携教育の対象校が入れ替わる。“未知の世界”だが、前向きに新しい風を吹き込みたい。

○委員（谷戸二小）：北原町三丁目の谷戸新道の通学路が心配。交通安全指導が必要ではないか。また、不審者対策としては比較的大通りを通るほうが良い。

○委員（中原小）：どの案もひばりが丘中へ進学予定。

○委員（谷戸小）：大通りを渡ることになる場合、安全面の配慮が必要。

○委員（田無小）：現在4つの中学校へ進学予定。これ以上増えないことが好ましい。

○委員（ひばりが丘中）：②案が良いが、北原町三丁目の児童は、田無二中へ進学したいのではないか。

○委員（田無二中）：②案が良い。分かりやすい。

○委員（住吉小）：②案が良い。北原町三丁目の生徒について、中学生は元気にひばり

が丘中まで歩けるのではないか。

○委員（谷戸二小）：②案が良い。本校は2つの中学校へ進学先が分かれるが、谷戸小からの進学先が分かれぬ。

○委員（中原小）：②案が良い。分かりやすい。

○委員（谷戸小）：②案が良い。

○委員（田無小）：現時点では、どちらの案でも良い。

○事務局：学校選択の際の理由として、小学校では通学距離、中学校では友人関係を重視する傾向にある。

○会長：これまでの議論では、②案が良いとする意見が多かった。

○事務局：今後の事務手続、必要な検討事項について資料5から7に基づき説明。

○会長：感想や質問があれば発言願いたい。

○委員：資料7について、「（仮称）第10中」の表記が分かり難い。

○委員：年度ではなく、暦年の表記の方が好ましい。

○委員：学期で記載したらどうか。

○事務局：年度と西暦との併記の方向で進めたい。また、「（仮称）第10中」は学校の建物自体を指し、誤解のないように示した経緯がある。

○委員：住民向けには分かりやすいようにしてほしい。

○委員：その他の通知についても、今後追加してほしい。

○委員：資料7の配布時期はどうするのか。

○委員：資料7は通学区域の注釈をつけたらどうか。

○委員：中原小を仮校舎として暫定利用することを補足説明したらどうか。

○委員：中原小を視点とした説明があると良い。

○委員：文章を2、3行程度で簡単にしたら良い。裏面にQ&Aを記載したら良い。

○会長：Q&Aを作成することで、関係者の方々が理解しやすくなる。

○委員：自分がどうなるのかが一番気になる。平成31年度から平成33年度の対応を特に説明してほしいと思う。

○委員：同じ内容の通知でも何回か配布したら良いと思う。

議題5 その他

○事務局：今後の予定について。

残り3回の会議で通学区域案を決定する。

次回会議では、これまでの検討経過を踏まえた中間まとめを提示したい。

市民向け説明会を11月頃に開催予定。

閉会